

神村恵 「記録の時間な無駄」

A.

後ろ向きで床に座る。

ルート1～8を指で辿りながら、テキスト1～25を発話する。

ルートを指で描く場所は、空中→床→背中と移行する。右手と左手を交互に使う。

B.

(a) ルート8を転がる。ルートと別の方向に進もうとしながら、外から自分を押すようにしてルートの方向に自分を転がす。

(b) ルート8を頭の中で辿りながら、ルート5を歩く。

C.

正面向きに立つ。

テキスト1「夢の中で夢を見るような動き、とは」を客席に向かって普通に発話する。

不明瞭な発話でテキスト1を言い、身体のだこかの部位による動きを即興で行う。動きながら、それが1の意味を表しているかを考える。

発話の仕方と使う部位を変えながら、7回それを行う。

<作成方法について>

ルート：自分がうろろう歩いた道順を思い出し、記録する。

テキスト：何もしていない時に頭に浮かぶ断片的な考えを記録し、作成する。

Cで発話するテキストは、書いた中から最も意味が不明瞭なものを一つ選ぶ。